

次第

- 1. 開会
- 2. 委嘱式
- 3. 副市長挨拶
- 4. 自己紹介
- 5. 会長・副会長の選出
- 6. 就任挨拶
- 7. 議題

(1) 文化創造ビジョン・岸和田 令和5年度の実績について

・庁内における取り組み

・資料Bに基づき、令和5年度の庁内における取り組みを報告。全95事業、食文化の取り組みも含めた為、令和4年度より増加。新規事業は観光課の「観光振興事業」と「泉州観光DMO事業」、都市整備課の「お茶畑再生プロジェクト事業」、健康推進課の「ウェルエージング推進活動事業」、「食生活改善事業」、農林水産課の「食の磨き上げ事業」「農業振興事業」「担い手育成事業」、学校給食課の「学校園給食事業」の9事業。

・資料6に基づき説明。

基本目標Ⅱ「輪を広げる」が37%で最多、続いて基本目標Ⅲ「まちを魅力を高める」36%である。細目としては、基本目標Ⅲ-5「イベントを活用とした魅力あるまちづくり」が全20事業と最多。

令和5年度の事業費は1,065,964,000円（一部指定管理事業費も含む）

・文化施設（浪切ホール・自泉会館・マドカホール）3館の取り組み

・資料C-1、C-2、D、Eに基づき説明。

浪切ホールは46事業（全50事業中4事業中止）、自泉会館全27事業、文化会館の全15事業を実施。

・文化団体による取り組み

・資料Fに基づき説明。

・岸和田市文化協会、岸和田文化連絡協議会の事業説明。

(委員) 資料 B、65 の観光課の「歴史街道推進事業」や資料 A の基本目標Ⅱまちの魅力を高めるのⅢ-1「歴史や文化財等への理解の促進と活用」とあるが、私の書道教室の小学生達に聞くと、ランドマークのような岸和田城の天守閣にも登ったことがない、存在自体知らない子も多い。通っている学校の歴史さえ知らない。どういう周知活動をしているのか。

(事務局) 学校の変革などは各学校で残していると思うが、それを学校がどのように生徒に教えているかは把握していない。

(委員) 基本目標Ⅳ未来へつなぐとあるが、委員のお一人でもある井上朗子先生が岸和田市立の全小学校に出向き、生徒の前で演奏して頂けると聞いた。有難くおもう。小さい時に綺麗な音を聞くと、記憶に残って将来自分も音楽に触れてみたい、演奏してみたいと感じると思う。文化活動の裾野が広がる気がする。

Ⅳ-3 の情報の収集、発信であるが、先日書道展のチラシ配架をあるセンターにお願いしたら、岸和田市で活動している団体かわからない等の理由で断られた。どういうアプローチをすれば、許可してもらえるのかわからない。

(事務局) センターで断られた理由については定かではないが、営利目的のもの（月謝や入場料の発生するもの）は置くことが出来ないと聞いたことがある。資料にある通り、95 事業もあるので、公民館やセンターのスペース的にも無理があるのではないかな。浪切ホール、自泉会館、マドカホールにおいては、市内、市外に問わず配架に努めている。

(会長) 事務局には配架の条件等を確認して頂きたい。

(委員) 皆さんが歴史や文化の香りが高い岸和田とおっしゃるが、前回の市議会議員選挙の投票率は 31%、全国でも大阪が低い水準なのにその中でも最下位。教育に関しても全国でも低い水準である。そんな中で文化の力があると自慢できるのか。

(事務局) おっしゃる通り、投票啓発ポスターを市内小中学校に依頼しても、1～2 校と応募が少ない。しかし、人権に関するポスターは多い。文化活動を啓蒙し、いい方向になればいいと思う。

(委員) 基本目標Ⅲの中にある、アーティスト・イン・レジデンスの研究とあるが、具体的にはどうしているか？

(事務局) 以前から目標に掲げていて、古民家を活用するなどの意見はあるものの、具体的

には進捗していないのが現状。以前城崎国際アートセンターに行ったとき、アーティストを公募し、芸術活動をしていただく代わりに、宿泊費や城崎温泉入浴料を無料にするなど、興味深いものだった。

(委員) 以前山手の古民家を文化活動に使用したいと考えていた方がいたが、所有者との金額折衝が高額でうまくいかなかったらしい。岸和田は古いまちなので、町や個は大切にするが、新しいものを受け入れてもらえないと私は常々感じている。そんな風潮を変えるべく、知育も大切だが、徳育も大事にすべき。

(会長) 日本のアーティストは岸和田市に一定のイメージがあるので、海外のアーティストにも目を向ければいいと個人的には思っている。

(委員) 浪切ホールでの活動について、ほとんど岸和田市と無関係のアーティストばかりのイベントとなっている。指定管理者なので仕方がないと思うが、岸和田の文化活動に即したアプローチがあるのではないか。

(事務局) 3館については三者三様であり、浪切ホールは興行的イベント、自泉会館は室内楽を中心とした音楽イベント、マドカホールは市の直営なので市民の文化活動に使用される。3館合同事業として令和5年度はいいむろなおきのパントマイム、令和6年度は第九、第九に関しては100名の募集に対し、170名の応募があった。

(2) 小・中学校アンケートについて

当日配付資料9-10「小中学校アンケートについて」説明。

(令和6年6～7月に小学校24校、中学校11校に対しアンケートを依頼。回収率100%)

(委員) 小学校における実施事業費用20万円の捻出は、どこからなのか？

(事務局) 家庭からの徴収だが、少子化の為、それも困難だと聞いている。

(会長) 金銭的な問題もあるが、昨今学校に演劇や伝統芸能に詳しい先生がいない、時間的にもタイトなスケジュールの為、芸術分野への取り組みが減少している。

(事務局) 先ほど議論していた城崎のアーティストインレジデンスでは、アーティストが滞在中、学校で公演する代わりに、宿泊費や温泉代を無料にし、地元の子ども達へ芸術に触れ合う機会を増やす。そういった取り組みが実現すればいいと思う。

(会長) 岸和田は、交通の便もよく、色んなイベントにも行けるという利点があるがゆえに、地元で芸術鑑賞を…とはなりにくいのではないかと。

(事務局) 以前から小中学生に焦点を当てているが、親の関心も含め、サッカーなどのスポーツをさせたい、したいがあるものの、なかなか芸術活動は浸透しないのが現状である。

(委員) 私自身、学校へ立体紙切りの出前授業をしに行く事があるが、工作の得意な子がおり、活躍の場になっている。費用捻出が困難であれば、出前授業でお手伝いしたいと思う。

(会長) 皆さんの得意分野でご協力をお願いしたい。

■ 8. 今年度の文化振興事業について

資料 13 に基づき、今年度の文化振興事業について説明。「音を楽しむコンサート インクルーシブコンサート」、「上村吉太郎 素踊りの會」、3 館合同事業「第九」、指定管理者の自主企画事業、新しく姉妹都市締結を目指しているラ・ロシェル市との音楽を通じた国際交流事業、岸城神社での音楽と書画のパフォーマンスなどを挙げる。

(委員) 昨年に実施した八陣の庭のインスタレーションだが、岸和田市民に知られていなかった気がする。アーティストの高橋匠太がプロデュースしていたのに残念だった。

(事務局) 昨年 11 月 26 日から一週間開催、高橋匠太プロデュースのイベントでオリジナルの曲も製作しており、岸和田城天守閣からも素晴らしいインスタレーションが楽しめた。この事業は府主催で府も広告活動はしていた。岸和田市は協力のみしており、依頼されてから日がなく、チラシやポスター、ホームページ等で告知はしていたものの、周知の時間がなかったのが現状。

(委員) 以前、自泉会館で岸和田市出身のアーティスト塩田千春展を開催し、全国から多くの方が来られていたが、岸和田市民は少なかったように感じた。告知のやり方を電車の中吊り広告などすれば多くの人の目に触れ、もっと集客できたのではないかと？

(事務局) 広告費など予算の関係で難しい問題がある。行かれた方も SNS で広めてもらえれば有難い。以前マドカホールで入場無料の塩田千春展をしたときは大盛況だった。自泉会館では 500 円の入場料を設定したが、それを理由に入場しない人もおられた。

■ 9. 文化施設のあり方について

資料 14 の岸和田市新行政改革プランについて説明。3 度の財政危機があり、その度に厳しい行財政改革に取り組み、行財政運営の停滞を招く事を回避してきたものの、なお財政が構造的に脆弱である事変わりなく、引き続き改革に取り組む必要がある。

(事務局) 資料 14、6 ページの定性目標に文化施設のあり方の見直しとあり、7 ページには公共施設の保有量を削減しなければならない要因は経営資源の制約であり、8 ページには中長期計画で文化施設、ホールの統廃合を検討することになっている。浪切ホールは開館 22 年、マドカホールは 40 周年を迎え、設備も老朽化が進んでいる。将来は 2 館で並行して運営するのか、統廃合するのか、もしくは文化活動に特化した複合施設になるのか、様々な意見があるかと思う。文化活動に施設も必要であるが、小中学校に演劇や演奏など鑑賞事業の場所を移す事もあるかと思う。現在、決まった方針はないが、今後適宜、文化振興審議会で報告していきたい。

(会長) 岸和田市に限らず、他の自治体も直面している問題だと思う。

■10. その他

(委員) 昨今、学校現場でも子どもに勉強は教えても芸術文化を教える余裕がないと思う。子育てに優しい岸和田だったので、他市から転居してきたが、時代が変わってしまったと感じている。文化においては東の水戸、西の岸和田を目指したい。

(委員) 広告費の件だが、自治会の回覧板に挟めばいいのでは？それと子どもの文化活動の難しさについては、町で 1 億 4 千万円のだんじりがあり、他の町に負けたくないというライバル意識を逆手にとって、工作など競わせればいいと感じた。

(副会長) 文化の推移を見れば、国で 2001 年 12 月に「文化芸術振興基本法」が設定され、案外歴史が浅い。岸和田市は 2013 年に文化振興条例を施行され、少し遅れた感がある。配付された文化振興審議会の資料は他市に負けないものだと思うが、もっと文化芸術に対して自由に仕事をしてほしいと感じた。

(連絡事項) ・次回の審議会は夏頃を予定。日程調整後に案内する。

・委員報酬は 2 月下旬頃口座振り込み

■11. 閉会